



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アサンテ
コード番号 6073 URL <http://www.asante.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 誠
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 飯柴 正美
四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

TEL 03-3226-5511

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,987	—	1,687	—	1,678	—	1,050	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	87.42	85.74
25年3月期第2四半期	—	—

当社は平成25年3月期第2四半期の財務諸表を作成しておりませんので、平成25年3月期第2四半期の記載及び平成26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,598	7,783	67.1
25年3月期	10,643	6,994	65.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,783百万円 25年3月期 6,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
26年3月期(予想)期末配当金の内訳 : 普通配当 22円00銭 記念配当 3円00銭

配当予想の修正につきましては、本日(平成25年11月11日)公表いたしました「配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,040	8.0	2,348	7.3	2,344	9.8	1,341	11.2	110.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	12,054,200 株	25年3月期	11,966,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	12,013,753 株	25年3月期2Q	10,500,000 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策の効果もあり円安・株高が進行したこと等により、景気は穏やかな回復に向かいました。また、雇用情勢は改善基調が続き、個人消費についても底堅く推移いたしました。

当業界におきましては、東日本大震災以来、自然災害に対する既存家屋の保全意識は依然として高く、当社事業にとってプラスの影響を及ぼしております。

このような状況下において、当社は平成25年3月の東京証券取引所市場第二部上場を機に、当社並びに当社のサービスに対する認知度をより向上させるべく、積極的に広報・販促活動を推進いたしました。一方、急激な労働需給関係の逼迫により、優秀な人材の確保が課題となってまいりました。

なお、当社は平成25年6月、意思決定の迅速化と透明性の向上、並びに主力事業でありますHA事業の強化のため、取締役総務部長及び取締役HA事業部長を選任し、併せて組織再編による営業基盤の再構築を図りました。

この結果、売上高は6,987百万円、営業利益は1,687百万円、経常利益は1,678百万円となりました。また、投資有価証券の売却、減損損失の影響等により、四半期純利益は1,050百万円となりました。

HA事業(ハウスアメニティー事業)におきましては、西日本へのエリア展開を図るため、平成25年4月に京都支店を開設いたしました。また、「シロアリ注意報」の公開、プレスセミナーの開催等の広報活動や、新聞折込、CM放送等の販促活動によって白蟻防除並びに関連商品の需要喚起に努めました。この結果、主に新規のお客様向けの販売が好調に推移し、同事業の売上高は6,877百万円、セグメント利益(営業利益)は2,232百万円となりました。

また、TS事業(トータルサニテーション事業)の売上高は110百万円、セグメント利益(営業利益)は9百万円となりました。

(経営成績に関する特記事項)

当社の売上高及び利益は、第2四半期累計期間に偏重する傾向があります。これは、例年5月をピークとして4月から7月頃まで、白蟻の活動が活発化し、HA事業における白蟻防除関連の受注件数が増加するためであります。この季節的変動により、四半期会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末比955百万円増加して11,598百万円となりました。このうち、流動資産は前事業年度末比1,064百万円増加して6,654百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加等により現金及び預金が869百万円増加したこと及び売上の増加に伴い売掛金が159百万円増加したことによるものであります。また、固定資産は前事業年度末比109百万円減少して4,944百万円となりました。主な要因は、減損損失等により建物(純額)が131百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比166百万円増加して3,815百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が268百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末比788百万円増加して7,783百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が810百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末比869百万円増加して4,429百万円となりました。

当第2四半期累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、968百万円の収入となりました。主な要因は、税引前四半期純利益1,763百万円による増加が、法人税等の支払額491百万円、投資有価証券売却益の計上201百万円及び売上債権の増加額158百万円による減少を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、180百万円の収入となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入214百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、279百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額237百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想は、平成25年5月14日公表の業績予想から変更はありません。

なお、配当予想は、平成26年3月期(予想)の期末配当金につきまして、普通配当22円00銭に記念配当3円00銭を加えた合計25円00銭に修正することといたしました。詳細につきましては、本日(平成25年11月11日)公表の「配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,560,013	4,429,366
売掛金	1,597,492	1,757,364
製品	57,451	48,054
原材料及び貯蔵品	104,971	118,527
その他	271,292	302,877
貸倒引当金	△1,597	△1,757
流動資産合計	5,589,625	6,654,432
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,155,314	1,023,964
土地	2,952,605	2,952,605
その他（純額）	157,301	158,683
有形固定資産合計	4,265,220	4,135,253
無形固定資産	24,999	34,540
投資その他の資産		
その他	815,222	824,989
貸倒引当金	△51,140	△50,236
投資その他の資産合計	764,081	774,753
固定資産合計	5,054,302	4,944,548
資産合計	10,643,927	11,598,980
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,118	234,796
短期借入金	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	381,072	386,072
未払法人税等	509,377	777,739
賞与引当金	257,661	248,046
その他の引当金	—	40,000
その他	796,839	701,223
流動負債合計	2,252,069	2,457,877
固定負債		
長期借入金	847,564	792,028
役員退職慰労引当金	430,588	445,822
資産除去債務	59,928	60,774
その他	59,180	59,045
固定負債合計	1,397,261	1,357,670
負債合計	3,649,331	3,815,548

(株)アサンテ (6073) 平成26年3月期第2四半期決算短信 (非連結)

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,025	1,113,255
資本剰余金	800,025	813,255
利益剰余金	5,045,959	5,856,922
株主資本合計	6,946,009	7,783,432
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,586	—
評価・換算差額等合計	48,586	—
純資産合計	6,994,595	7,783,432
負債純資産合計	10,643,927	11,598,980

（2）四半期損益計算書
第2四半期累計期間

（単位：千円）

	当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
売上高	6,987,820
売上原価	1,867,135
売上総利益	5,120,685
販売費及び一般管理費	3,432,965
営業利益	1,687,720
営業外収益	
受取利息	468
受取配当金	804
受取保険金及び配当金	7,769
その他	4,186
営業外収益合計	13,229
営業外費用	
支払利息	7,786
支払手数料	9,632
その他	4,696
営業外費用合計	22,115
経常利益	1,678,833
特別利益	
投資有価証券売却益	201,528
特別利益合計	201,528
特別損失	
減損損失	116,907
特別損失合計	116,907
税引前四半期純利益	1,763,454
法人税、住民税及び事業税	757,181
法人税等調整額	△44,010
法人税等合計	713,171
四半期純利益	1,050,283

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,763,454
減価償却費	55,592
減損損失	116,907
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△744
賞与引当金の増減額（△は減少）	△9,615
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	15,233
受取利息及び受取配当金	△1,272
支払利息	7,786
投資有価証券売却損益（△は益）	△201,528
売上債権の増減額（△は増加）	△158,365
たな卸資産の増減額（△は増加）	△4,157
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,322
その他	△114,773
小計	1,466,195
利息及び配当金の受取額	1,272
利息の支払額	△7,805
法人税等の支払額	△491,072
保険金の受取額	2,060
その他	△1,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	968,930
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	214,974
固定資産の取得による支出	△28,716
その他	△5,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	180,301
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	150,000
長期借入金の返済による支出	△200,536
配当金の支払額	△237,819
その他	8,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△279,879
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	869,352
現金及び現金同等物の期首残高	3,560,013
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,429,366

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当第2四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	HA事業	TS事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,877,478	110,342	6,987,820	—	6,987,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,877,478	110,342	6,987,820	—	6,987,820
セグメント利益	2,232,738	9,518	2,242,256	△554,535	1,687,720

（注）1. セグメント利益の調整額は全社費用△554,535千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行なっております。